

【演題】

『 パーシャルデンチャーの維持装置について 』

『 総義歯の咬合と義歯の吸着メカニズム 』

日技認定講師 佐藤 幸司  
(愛知県歯科技工士会)

【抄録】

超高齢社会を迎え高齢者歯科医療ニーズの動向と口腔ケアの充実が求められ、健康義歯の質的需要が高度化しQOLが求められて来ています。

また、歯科医療現場も高度に発達した歯科医療技術の進歩により、歯が喪失した無歯顎者の疾病構造も著しく変化して来ていると思われまます。義歯製作も、客観的な根拠により効率的な製作システムと供給体制が求められています。

そこで、三重県歯科技工士会主催の生涯研修では午前中に『パーシャルデンチャーの維持装置について』、午後からは、『総義歯の咬合と義歯の吸着メカニズム』について、講演する予定です。

また、義歯の咬合は無歯顎臨床で最も重要な要素であり、印象採得・咬合採得から得られた模型を分析し正確に咬合器装着を行い、客観的な人工歯排列ゾーンと症例に応じた咬合の付与について講演する予定です。

無歯顎補綴の仮想咬合平面の設定基準と患者固有の咬合彎曲は重要な要素であります。デジタル技工の歯冠修復・インプラント補綴製作等の解剖学的設定基準としても重要であります。

解剖学・発生学・生理学から異なる臨床症例に対する咬合平面の設定と咬合彎曲の与え方や生理学的、力学的に考慮し適切な部位に人工歯排列を行い、筋組織と口腔内に調和した咬合と咬合様式の付与について考察したいと思います。

最後に時間が許せばデジタルデンチャーの展望についても考察し、時間の許す限り聴講して戴いた皆様と共にディスカッションを交えながら有意義な生涯研修になれば幸いです。